

# 高齢者の皆さんを ゲームや歌で「おもてなし」交流会

教育課程上の位置付 生活単元学習

## 実施概要

施設との交流は、今回が初めてで、利用者5人を学校に招きました。生徒の始めの言葉の後、「にじいろ」を歌って利用者を歓迎し、全員が自己紹介を行いました。続いて、混合の2グループに分かれ、カードゲームを行い、生徒と利用者がテーブルの周りに交互に車座で座り、ゲームを行いました。最後に、生徒と利用者が手作りのはがきをプレゼント交換し、再度「にじいろ」を全員で歌い、活動を終了しました。

**活動参加者** 当校 生徒…8人 担当教員…3人  
**内訳** 交流先 利用者…5人 担当職員…3人

**交通手段** 当校とじゅうじょうの憩との距離はおおよそ120m  
徒歩で来校 約5分



ジョーカーの行方に緊張します

## 活動報告 実施日：10月9日(火)

始めに、生徒の「ミュージック、スタート」の掛け声で「にじいろ」の音楽が流れ、利用者も笑顔で口ずさみました。続いて、ゲームに入り、利用者が「カードを取っていい？」と生徒に尋ねると、生徒が「いいよ！」と元気に応え、利用者が「ジョーカーを引いてしまった」と困り顔で言うなど、みんなが笑顔の中でゲームは進みました。

グループの中で生徒が1番に手持ちのカードを無くすと、拍手や歓声が上がりました。最後には、生徒は利用者へ手作りのハガキを、利用者は自分の好きな言葉を書いたはがきをプレゼント交換すると、生徒の手を握ってお礼を言う利用者もいました。そして、もう一度「にじいろ」を合唱し、活動を終了しました。

### 当日のスケジュール

- 9:30 学校、施設、SSC、都教委4者打合せ(1階教育相談室)  
利用者、来校 教員が2階控室へ案内
- 9:45 生徒代表が控室にお迎え、2階教室まで案内
- 10:00 始めの言葉(生徒1名)  
・歓迎の歌「にじいろ」を合唱  
・自己紹介(生徒8名・利用者5名)
- 10:20 2つのグループでカードゲーム(教員がゲームを説明)  
生徒と利用者が手作りのプレゼント交換
- 10:45 アンコール「にじいろ」
- 10:50 終わりの言葉(生徒1名)  
代表生徒が利用者を玄関までお見送り

### ■活動のために準備したもの

- ・歌詞を書いた模造紙
- ・名前のテープ
- ・利用者へのプレゼントの「はがき」(生徒作成)

### ■工夫したところ

- ・利用者の方々に耳なじみのある歌を交流の歌として選択しました。
- ・ルールが分かりやすいカードゲームを活動内容に選びました。
- ・生徒と利用者の方々が交互になるように並び、交流を図りました。
- ・生徒が司会等の係を担い、生徒主体で活動できるようにしました。

### ■実施にあたって注意したところ

- ・生徒と利用者の方々が心の交流ができるような雰囲気づくりをしました。
- ・生徒が玄関までお迎えに伺い、歓迎の意が伝わるようにしました。
- ・大人の介入をなるべく控え、生徒と利用者の方々との会話を見守りました。

### ■良かったと思うところ

- ・生徒が違う年代の方と交流する経験ができました。
- ・交流後、皆の表情が笑顔で和やかな雰囲気になりました。
- ・生徒のおもてなしの心が利用者の方々に伝わりました。

### ■今後に向けての学校からの抱負

- ・交流前に、生徒に活動の主旨や経緯を更に詳しく説明し、交流に対する意欲や積極性をもてるようにしたいと思います。
- ・今後は生徒が、より積極的に交流ができるよう内容や係を考えたり交流に対する目標を設定させたいと思います。
- ・司会進行等、生徒主体で進めるようにしたいと思います。

当校は、肢体不自由教育部門(小学部・中学部・高等部)と病弱教育部門を併置する特別支援学校です。当校は、これまで近隣の小学校・中学校や高等学校、東京国際フランス学園等との共同学習や地域での職場体験を行うこと等を通して、同世代の児童・生徒や地域の方々との交流の機会をもってきました。社会貢献活動は、地域の商店街で清掃活動などを行っています。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

会う前は、一緒に交流することができるか不安でしたが、一緒に歌を歌ったり、カードゲームをしたりして楽しく交流することができました。利用者の方々に喜んでもらえるのか不安でしたが、最後に笑顔で握手することができて、とてもうれしかったです。  
控室にお迎えに行った時は、とても緊張しましたが、最後には笑顔で話をしたり、カードゲームをしたりすることができてよかったです。

#### 教員

活動前は、どのように交流したらよいかわからない様子の生徒も、一緒にふれあうちに少しずつ打ち解け、話ができるようになってきました。また、今後も交流を重ねることによって、より実りのある活動になるのではないかと思います。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

楽しかったです。またやりたいです。  
カードゲームは普段やらないので難しかったですが、楽しかったです。また、皆さんとカードゲームをしたいです。  
子供たちとのこんな楽しい経験は初めてで、とても感動しました。素晴らしい体験をさせてもらい、ありがとうございました。

#### 施設長

今回初めての開催にあたり、当初は不安も少なからずありましたが始まってみれば、笑顔ですぐに打ち解けることができ安心して交流を拝見することができました。年代を超えての交流となりましたが、地域に共存する皆様お互いに助け合いながら、今後もこのような機会が増えればよいと強く感じました。利用者の方々と共に社会貢献活動の一環として、生徒さんとの交流を続けていければと思います。

### ■実施までの経過 ※(コ):コーディネーター

- 6月19日 (コ)、当校を訪問。校長、副校長と打合せ。その後施設を訪問。施設長に当事業を説明、協力を依頼。施設長快諾
- 7月13日 施設長、学校を訪問。生徒の様子を確認
- 9月5日 (コ)、担当教員と施設を訪問。活動内容、保険等打合せ
- 9月18日 (コ)、施設長と学校を訪問。活動内容を打合せ
- 9月5日 (コ)、副校長、担当教員3人と打合せ。活動の進行、動線等を確認
- 10月4日 (コ)、メールにて担当教員、施設担当者との最終打合せ



歓迎の歌で和やかに



お招きした参加者に心を込めたプレゼントを

### 交流先

## 株式会社フロンティアの介護 グループホーム じゅうじょうの憩

住 所:東京都北区十条台2-1-2

■施設概要  
グループホーム 定員18名

